



蘇る歴史

神田 隆氏・昭和58年卒

夕
陽

五館市支部会員

発行所
夕陽会 函館市支部
函館市立北美原小学校
印刷／株島本印刷



母校を訪ねて

夕陽会函館市支部 支部長 碇 幸信

(昭和四十九年卒)

本年度に入り、母校に出向くことが多くなった。施設的には、卒業した当時と大きな変化はないが、あえて違いを探せば・・・数に限りがある定食に有り付くため、講義の終わる前に『忍びの如く』抜け出して向かった食堂は今はない。苦手なピアノを練習した個室も撤去された。

改築された多目的ホール。一部は、夕陽会で使用できる会議室に変わっていた。少々意図的に書かせてもらえば、昨年リニューアルされた夕陽記念館が最大の変化かもしれない。ホールには、一般企業の募集要項が当時よりは多く張られていくように思う。しかし、その前に、教育実習に関する掲示板がしっかりと確保されていることに心なしか安堵を覚えた。

『わっしょい函館』参加募集のポックスが置かれていた。そばに積まれた冊子を手に取る。北海道教育大学学園情報誌と書かれた立派なパンフレットである。『キヤンパスライフの中の祭』といふページに函館校の学生が法被姿で、繁華街の道を楽しげに踊る様子が掲載されていた。

児童・生徒・保護者と共に汗を流しながら力踊りを踊る学生。人とのふれ合い・地域貢献など多方面から地域とのかわりを模索する学生の姿である。四十年前の自分を思い出す。同じ場所、同じ道をヘルメットをかぶり、手ぬぐいで顔を覆い、腰を曲げ気味に練り歩く自分が、そして同志。

当時を振り返れば、現在、教育に携わるすばらしい先輩のアジ演説にだまされ、

いやひかれて、未来の国家を憂い、盾を持つ機動隊に恐怖を感じながら、薄っばらな信念を掲げ行動した記憶が蘇る。

大学や学生の動きは、まさに時代の背景、流れ、社会の風に大きな影響を受け存在する。しかし、いつの時代にも言われる「今時の若者は・・・」という否定的な言葉とは裏腹に、正義感・改革への思い・行動するエネルギーは多くの学生が持ち合わせていると信じたい。

母校を訪ねての感慨をつづるだけの文章となってしまったが、大学時代の自分を振り返り、そこにひとつでも語れるものが存在することが同窓の原点と思える。先日、本校に取材に来たあるメディアの記者が、偶然、函館校を卒業した若者だった。

「民間で頑張ってるんだ。やあ、会えてよかつた。」と言うと、

「初めてです。そんな風に言わるのは、同窓の方に会うと、きまつて『どうして先生にならなかつたの。』と聞かれるんですよ。」何となく納得できる話だった。

「また必ず連絡するから。」という言葉で別れた。

四月に夕陽会函館市支部・支部長の重い任を受け、戸惑いの毎日ではありますかが、一人一人の同窓の想いを世代を超えてつなぐ役目を少しでも果たすことができればと考えております。橋田恭一会長の指針のもと、『チエンジ』実現のため微力ではありますが全力を尽くす所存です。会員の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。



函館市立
吉田 稔
(昭和五十二年卒)

新しい任地にて

開校五十八年目を迎える本校は津軽海峡を望む高台に位置し、生徒数三十九名の小規模校です。校区にある釜谷・汐首の二港を寄港地として、今や全国的なブランドである戸井マグロが連日のようなく水揚げされています。一地方というにはあまりに大きなブランド力に地域は沸き立ち、大きな活力となっています。地域力は子どもたちへの教育力としても大きく機能しています。生徒の言葉遣いや立ち居振る舞いが漁師町の学校とは思えないほどしっかりと落ち着いているのに、

豊かな自然に恵まれたこの黒岩の丘に東小学校はあります。四月一日に私を迎えてくれたのは、目の前に広がる海に浮かぶ、朝日に照られた函館山でした。自分がここにいる、ここに来たという使命感を強く感じた瞬間でした。

それから、四か月・・・。この東小学校をサッカーのチームにたとえてみます。強いサッカーには、優れた選手と監督、そして、熱狂的なサポーターがあります。選手は教職員です。東小学校の

チーム東小学校

教職員は、子どもたちのために、非常に熱心に仕事をする大変優秀な職員です。サポーターは、保護者と地域ということになりますが、四月のPTA総会の参加者が多いことに驚きました。前任の学校は児童が三倍以上おりましたが、東小学校の方が参加者が多く、学校に対する関心の高さを感じました。また、地域には

誠心誠意と真心で

函館市立

鰐川中学校教頭
姥子 友正
(昭和六十三年卒)

現在、教育を巡る話題は子育ての問題や少子化の問題、親ごさんとのコミュニケーションの問題、低学力の問題等、難題が山積している感があります。

しかし、「ビンチはチャンス」の言葉通り、今ほど学校の先生の力が頼りにされている時ははないのでしょうか。世の中の多くの人が「寄る辺」を見失い、悲観から自殺へと向かう方が後を絶ちません。

私たち学校の教職員は、そのような人たちの「寄る辺」となり、社会を明るく照らしていくなければなりません。「教師」とは、子どもや大人に過去の歴史や知識的財産を正確に伝え、将来への夢や展望を語る存在であるべきだと思います。

私自身も教職に夢と口マンをもち、今までご指導いただいた諸先輩の教えを忘れず、誠心誠意子どもたちのために真心を持って取り組みたいと考えます。



函館市立
東小学校長
伊藤 克美
(昭和五十四年卒)

新たな気持ちで

漁村育ちの私には驚くばかりです。

活性化された地域は生徒に夢をもたらすとともに、教育の中心としての学校に对しても大きな期待をもつています。かつてこの地域で勤務された夕陽会の諸先輩方が、その期待に応えるべく、地域の子どもたちの教育にご尽力された歴史を身をもつて感じ取っています。

教員としての勤務も長くなり、勤務校舎から見える函館山や対岸に現れる津軽海峡、日没後の漁火や海岸線に沿つて広がる街の明かりなど、私にとっては新しいこの原風景が、この校舎で三年間を過ごす子どもたちにとって心の支えとなるそのような学校づくりに精一杯取り組みたいと思います。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。

開校五十八年目を迎える本校は津軽海峡を望む高台に位置し、生徒数三十九名の小規模校です。校区にある釜谷・汐首の二港を寄港地として、今や全国的なブランドである戸井マグロが連日のようなく水揚げされています。一地方というにはあまりに大きなブランド力に地域は沸き立ち、大きな活力となっています。地域力は子どもたちへの教育力としても大きく機能しています。生徒の言葉遣いや立ち居振る舞いが漁師町の学校とは思えないほどしっかりと落ち着いているのに、

支えられて



函館市立
金谷美也子
(昭和五十四年卒)

四月、新採用でお世話をなった学校に着任することができました。校舎は変わりましたが、学校の周りの木々や小鳥のさえずりが懐かしく緊張をほぐしてくれました。千代田小学校は、野外劇やハローイングリッシュ活動、図書館教育、リコーダークラブ等々、何事にも積極的に取り組んでいる学校です。また、若い先生方が多く、活気にあふれています。

夏、本校を会場に研修講座が開かれることとなりました。会場や駐車場などの校舎から見える函館山や対岸に現れる津軽海峡、日没後の漁火や海岸線に沿つて広がる街の明かりなど、私にとっては新しいこの原風景が、この校舎で三年間を過ごす子どもたちにとって心の支えとなるそのような学校づくりに精一杯取り組みたいと思います。今後ともご指導よろしくお願ひいたします。



函館市立
鰐川中学校教頭
姥子 友正
(昭和六十三年卒)

新会員になつて

多くの人に支えられて

教師としての自分を見つめて

日々成長を目指して

支え合いを大切に



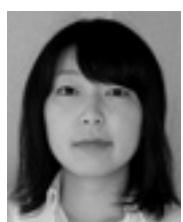
函館市立
桔梗小学校
古谷 賢一
(平成二十年卒)



函館市立
昭和小学校
入江 恭子
(平成二十一年卒)



函館市立
赤川中学校
浦田 佳佑
(平成二十一年卒)



函館市立
北中学校
宮本そのみ
(平成二十一年卒)

今年度より桔梗小学校に勤務となり、三年生の担任として日々頑張っています。社会人になつたばかりで不安でいっぱいですが、職場の先生方や子どもたちの励ましに支えられていることを実感しています。最初に悩んだのは、学級の担任として最初に悩んだのは、学級の再編成を行いましたが、異なる学級の子どもが集まるため、様々な場面でやり方がバラバラでした。更に私自身の初めての学級経営なのであいまいな部分も多く、統一するのに試行錯誤を繰り返しました。

学習指導においても、私一人で三〇人を超える子ども一人一人に応じた指導を行うことがなかなかできず、常にもどかしさを感じています。また、児童を引きつけるような授業の工夫もまだまだできていません。

悩みが尽きない中で、職場の先生方や指導教官からアドバイスや励ましの言葉をいただき、なんとか一学期を終えることができました。そのほかにも夕陽会の諸先輩や他校の先生方にも助言をいただき、自分の力となっています。心が折れそうになつた時や困つた時に、近くに支えてくれる人がいることに感謝しています。

初めて教壇に立つた日から、毎日が課題と発見の連続です。まだまだ未熟ですのが、これからも教員として大きく成長していくよう、努力を惜しまず頑張ります。

このたび、函館市立昭和小学校に赴任し、四月から念願の教師生活が始まりました。現在、音楽専科と、算数T・Tとして子どもたちとかかわっています。たくさんのおともたちと先生方に支えられ、少しでも教師としての実力をつけたいと奮闘する毎日です。

一学期は、学習指導がうまくいかず、試行錯誤の連続でした。特に音楽の指導では、児童理解と教材研究が不十分だったために、クラス間で学習意欲に明確な差が生じてしまうことがありました。子どもの実態に即した指導の難しさを痛感した四ヶ月でした。

また、専科ならではの悩みも少なくありません。自学級の指導ではないため、どの程度子どもたちと心を通せられるかが、はじめは不安でたまりませんでした。そんな時に助けてくださったのが、指導教官からアドバイスや励ましの言葉をいただき、なんとか一学期を終えることができました。その後にも夕陽会の諸先輩や他校の先生方にも助言をいただき、自分の力となっています。心が折れそうになつた時や困つた時に、近くに支えてくれる人がいることに感謝しています。

今まで教壇に立つた日から、毎日が課題と発見の連続です。まだまだ未熟ですが、これからも教員として大きく成長していくよう、努力を惜しまず頑張ります。

平成二十年三月、北海道教育大学函館校を卒業し、一年間の期限付き教諭を経て、四月一日より函館市立赤川中学校に赴任しました。

一学期は、あつという間に過ぎ去ったように思います。様々なことに挑戦し、少しでも教師としての実力をつけたいと奮闘する毎日です。

一学期は、学習指導がうまくいかず、試行錯誤の連続でした。特に音楽の指導では、児童理解と教材研究が不十分だったために、クラス間で学習意欲に明確な差が生じてしまうことがありました。子どもの実態に即した指導の難しさを痛感した四ヶ月でした。

また、専科ならではの悩みも少なくありません。自学級の指導ではないため、どの程度子どもたちと心を通せられるかが、はじめは不安でたまりませんでした。そんな時に助けてくださったのが、指導教官からアドバイスや励ましの言葉をいただき、なんとか一学期を終えることができました。その後にも夕陽会の諸先輩や他校の先生方にも助言をいただき、自分の力となっています。心が折れそうになつた時や困つた時に、近くに支えてくれる人がいることに感謝しています。

今まで教壇に立つた日から、毎日が課題と発見の連続です。まだまだ未熟ですが、これからも教員として大きく成長していくよう、努力を惜しまず頑張ります。

今年後、更に子どもたちと心を通わせることができる教師となるよう、自己研鑽に努めたいと思います。これからも、たくさんのご支援やご指導を、よろしくお願いいたします。

「学ぶことをやめたとき、教えることをやめなければならない」というサッカー仏代表監督の言葉があります。夕陽会をはじめとするたくさんの先輩方のお力を借りながら、日々成長できるようになります。これからも生徒と一緒にになって悩むこともあります。これからも生徒と一緒に喜んでいたいと思います。

学校生活の様々な場面で自分の未熟さを感じるたび、生徒や周りの先生方に支えられていることを実感しています。これからも常に自ら学ぶ姿勢で、一日一日大切に過ごしていきたいと思います。

今年の春に大学を卒業し、四月から教師生活が始まりました。最初のうちは学生時代との大きな環境の変化に戸惑い、仕事の責任の大きさに対する不安に押しつぶされそうでした。最近ではようやく元気な生徒、温かく時には厳しく指導してくださいる先生方に囲まれて、自分は恵まれているなど感じています。

毎日の生活の中では、自分の力量のなさを痛感し、試行錯誤の連続です。その中でも特に教科指導に力を入れています。けじめがあり、汗だくで活動できる体育授業を目指し、日々研さんを積んでいます。

また、部活動では野球部の副顧問として指導しています。自分が小学二年から経験してきた野球ですが、指導者として授業を目指し、日々研さんを積んでいます。まだ未熟なので、これから生徒とともに、指導者としても成長していきたく思います。

夕陽会の先輩方には、大学在学中から教員採用試験対策講座などで大変お世話になりました。また、教員となつてから担任との橋渡しの役目がうまくできずに悩むことがあります、専科としての経験は、今後の私の教師生活に必ず生きてくれるものと考えています。

「学ぶことをやめたとき、教えることをやめなければならない」というサッカーフラ代表監督の言葉があります。夕陽会をはじめとするたくさんの先輩方のお力を借りながら、日々成長できるようになります。これからも生徒と一緒にになって悩んでいたいと思います。

今年の春に大学を卒業し、四月から教師生活が始まりました。最初のうちは学生時代との大きな環境の変化に戸惑い、仕事の責任の大きさに対する不安に押しつぶされそうでした。最近ではようやく元気な生徒、温かく時には厳しく指導してくださいる先生方に囲まれて、自分は恵まれているなど感じています。

毎日の生活の中では、自分の力量のなさを痛感し、試行錯誤の連続です。その中でも特に教科指導に力を入れています。けじめがあり、汗だくで活動できる体育授業を目指し、日々研さんを積んでいます。まだ未熟なので、これから生徒とともに、指導者としても成長していきたく思います。

夕陽会の先輩方には、大学在学中から教員採用試験対策講座などで大変お世話になりました。また、教員となつてから担任との橋渡しの役目がうまくできずに悩むことがあります、専科としての経験は、今後の私の教師生活に必ず生きてくれるものと考えています。

「学ぶことをやめたとき、教えることをやめなければならない」というサッカーフラ代表監督の言葉があります。夕陽会をはじめとするたくさんの先輩方のお力を借りながら、日々成長できるようになります。これからも生徒と一緒にになって悩んでいたいと思います。

- 五、広報活動の充実を図る。
- 四、会員の動向を的確にとらえ、組織強化ならびに会計の効率化を図る。
- 三、会員の慶弔に対し、適切に対処する。
- 二、幹事と若手会員を核に、「創造し行動する夕陽会」の浸透に努める。
- 一、本部との連携を深め、会員親睦の充実に努める。

母校開学の精神「土地墾闢・
人畜養殖」の精神を確かに、支
部会員の資質高揚と親睦の和を
深めることを目指した会務の運
営に努める。

あわせて夕陽会の充実発展に
寄与する。

平成21年度 支部運営方針

○役員 一、支部役員 支部役員・業務内容

役職	氏名	卒業年次	所属
幹事長	監査	副幹事長	幹事長
碇	青木	鳴海	片桐
幸信	昌史	山田	鳴海
49年卒	裕	真崎	由博
卒業年次	28年卒	不一彦	康司
函館市立北原小学校	函館市立桔梗中学校	函館護國神社宮司	新濱美喜子
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	猛
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	大西正光
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	谷惠
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	伊藤正宏
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	寺岡昭治
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	斎藤正康
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	藤谷利春
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	池上忠夫
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	川島孝正
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	尾正
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	山尾正
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	48年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	47年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	47年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	44年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	42年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	42年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	39年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	37年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	33年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	32年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	31年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	23年卒
函館市立北原小学校	函館市立高盛小学校	函館市立北原小学校	卒業年次

二、主な業務内容

- 一、支部総会
- 二、受賞祝賀会
- 三、支部会報の発行
- 四、新入会員激励会
- 五、役員会
- 六、本部事業への協力(総会・懇親会・その他)
- 七、会費(本部会費・支部会費)の集約
- 八、特別業務
- 受賞会員、昇任会員への祝電
- 逝去会員へのご香典・弔電

平成20年度 一般会計決算書

1. 収入の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	増減(△)	摘要
会員費	現職会員	850,000	840,000	△ 10,000 840名×1,000円
年会費	40,000	37,000	△ 3,000	年次会員
緑越金	171,975	171,975	0	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	20,000	50,316	30,316	利子、2月祝賀会案内発送料補助
合計	1,181,975	1,199,291	17,316	

2. 支出の部

項目	20年度予算額	20年度決算額	増減(△)	摘要
事務費	220,000	94,172	△ 125,828	コピー代、用紙、プリンタインク
事業費	400,000	472,370	72,370	会報、広告代
会議費	200,000	227,700	27,700	幹事会等
慶弔費	250,000	127,000	△ 123,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	60,000	52,240	△ 7,760	各種会費等振込手数料
雜費	21,975	0	△ 21,975	
予備費	30,000	0	△ 30,000	
合計	1,181,975	973,482	△ 208,493	

〈収支決算〉

収入	1,199,291
支出	973,482
残高	225,809

1. 収入の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
会員費	現職会員	840,000	810,000	△ 30,000 810名×1,000円
年会費	年会費	37,000	37,000	0 年次会員
緑越金	171,975	225,809	53,834	
緑入金	100,000	100,000	0	前納会計から
雑収入	50,316	20,000	△ 30,316	利子、案内状発送補助
合計	1,199,291	1,192,809	△ 6,482	

2. 支出の部

項目	前年度決算額	本年度予算額	増減(△)	摘要
事務費	94,172	200,000	105,828	コピー代、用紙、封筒印刷
事業費	472,370	450,000	△ 22,370	会報、広告代
会議費	227,700	200,000	△ 27,700	幹事会等
慶弔費	127,000	250,000	123,000	祝電、結婚祝い金、弔電、香典
振込手数料	52,240	60,000	7,760	各種会費等振込手数料
雜費	0	12,809	12,809	
予備費	0	20,000	20,000	
合計	973,482	1,192,809	219,327	

3. 前納会計

残高	
普通預金	1 2,159,396
普通預金	2 464,576
合計	2,623,972

夕陽会函館市支部規約

第一条 この会は、北海道教育大学夕陽会函館市支部と略称する。(夕陽会函館市支部)

第二条 この会の事務局は、支部長の勤務先に置く。

第三条 この会は夕陽会会則に基づき、支部会員相互の親睦と発展を図ることと共に、地域の教育・文化の進展に寄与することを目的とする。

第四条 この会は、その目的を達成するため次のことを行う。

一、総会

二、懇親会

三、会員の慶弔に関すること

四、支部会報の発行

五、教育研究諸会合

六、その他必要と認められるもの

第五条 この会は、函館市及びその近郊に在住する次の各号に該当する者をもつて会員とする。

一、北海道函館師範学校卒業生

二、北海道第二師範学校卒業生

三、北海道学芸大学函館分校卒業生

四、北海道教育大学函館分校卒業生

五、北海道教育大学函館校卒業生及び大学院修了生

六、母校に在学した者（講習科、養成所も含む）

第六条 この会の役員は次のように定める。

一、役員

(一)支部長 一名

(二)副支部長 二名

(三)幹事長 一名

(四)副幹事長 若干名

(五)幹事 若干名

二、選出方法

(一)支部長、監査委員は選考委員により選考し、総会の承認を求める。

(二)副支部長、幹事長、副幹事長は支部長が委嘱し、総会の承認を求める。

(三)幹事は、勤務先その他ブロック毎に一名を選出し、支部長が委嘱する。

(四)支部長は、支部を代表し会務を統理する。

(五)副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故ある時はこれを代行する。

(六)幹事長は、支部長の命を受け、会務を処理する。

(七)副幹事長は、幹事長を補佐する。

(八)幹事は、勤務先その他ブロックを代表し、会務を分担する。

(九)監査委員は、支部の会務及び会計を監査する。

三、任期

(一)支部長、副支部長、監査委員は二年とする。

(二)幹事長、副幹事長、幹事は一年とする。

(三)欠員による補充役員は、前任者の残任期間とする。

(四)再任は妨げない。

四、会費

(一)前納会費は、別途規定を設ける。

(二)会員の受賞、栄進等は祝電

(三)会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

(四)その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

(五)この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

五、慶弔費

(一)会員の結婚は祝儀五、〇〇〇円と祝電

(二)会員の受賞、栄進等は祝電

(三)会員の死亡は香典五、〇〇〇円と弔電

(四)その他必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

(五)この会は、顧問を若干名置くことができる。

(六)顧問は、この会の重要な事項に関し支部長の諮詢に応じる。

(七)顧問は、支部長が委嘱する。

(八)この会の会議は、次のように定める。

事務局だより

- 去る五月二〇日（水）、本部より橋田恭一會長、土谷敬幹事長代行のご臨席を賜り、「新會員・転入會員・幹事懇親会」をホテル法華クラブ函館で開催いたしました。橋田會長によるご祝辞、川島孝夫前會長による祝杯で懇親会が始まりました。

- 二、幹事会

- (一)定期総会は、年一回支部長が招集し、会務、会計、規約、役員、その他の議題を審議する。

- (二)臨時総会は、必要に応じて支部長が招集し、定期総会に準じて行う。

- (三)その他、必要とするもの。

- 第九条 この会の収入は、次の通りとする。

- 一、会費

- 二、寄附金

- 三、事業による収益金

- 四、その他

- 第五十条 この会の支出は、次の通りとする。

- 一、会議その他事業費一般

- 二、懇親会その他会合費

- 三、慶弔費

- 四、その他の必要なものは、支部長、副支部長、幹事長の協議による。

- 第五十一条 この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり、翌年三月三十一日に終わる。

- 付 則 平成五年四月十七日 改正
平成九年四月十九日 改正
平成十三年四月二十一日改正
平成十八年四月十五日 改正

- 第六条 この会の役員は次のように定める。

- 一、顧問は、この会の重要な事項に
二、顧問は、支部長が委嘱する。

- 三、この会は、顧問を若干名置くこ
とができる。

- 四、顧問による補充役員は、前任者の
の残任期間とする。

- 五、再任は妨げない。

- 六、この会の会議は、次のように定め
る。

- 一、顧問は、この会の重要な事項に
二、顧問は、支部長が委嘱する。

- 三、この会は、顧問を若干名置くこ
とができる。

- 付 則 平成五年四月十七日 改正
平成九年四月十九日 改正
平成十三年四月二十一日改正
平成十八年四月十五日 改正

- 六、母校に在学した者（講習科、養成所も含む）

- 七、この会の役員は次のように定める。

- 一、役員

- (一)支部長 一名

- (二)副支部長 二名

- (三)幹事長 一名

- (四)副幹事長 若干名

- (五)幹事 若干名